



月刊

ポケット

あわじ

発行日 2009年3月1日

「淡路のべっちゃんい べっちゃんい」を見つけた (だいじょうぶ！だいじょうぶ！)



星空の写真は、天体観測館「きらら館」(淡路市野島常盤)で「自然ふれあい講座」の企画運営委員として星空ナビゲイトをされている中田清民さんに提供していただきました。中田さんは、「淡路島の夜空は阪神間の大都会の明かりによって、北部ほど星が見えにくい状態ですが、空の澄んだ時なら私の居住する北淡地域でも“天の川”は見えるし、まだまだ捨てたものではありません。最近は飛行機がひっきりなしに通過して星空撮影も難しい」とのことですが、今年は「世界天文年」なので、何か星空に親しむことをアピールしたいと言われています。

淡路島は、まだまだ星がきれい

長年、淡路島を離れて仕事をしていましたが、そこでは夜空を見上げてホンの少しの星しか見えなくて、ずっと寂しかったのです。でも淡路に帰って来てから、夜空を仰ぐとたくさんの星がいっぱい……。星空を眺めていると中学校の宿題で、寒空の下で移り変わる星空のスケッチをしたことを思い出し、懐かしい気持ちが込み上げてきます。

神戸からほんの1時間足らずのこの場所で満天の星空を楽しむことができます。「淡路島の自然は、まだまだべっちゃんい。」
応援隊：栄 宏之



今月の特集「淡路のべっちゃんい べっちゃんい」を見つけた
(だいじょうぶ！だいじょうぶ！)

- P.1 淡路島はまだまだ星がきれい
- P.2 淡路を楽しく盛り上げてくれる土井章広さん
祭礼団ががんばっている！（南あわじ八木地区）
- P.3 淡路発 左官職人 久住有生さん
淡路島はだんじり唄が盛ん（鮎原小学校）

もくじ

- P.4 生活創造活動グループ紹介
くらしのパートナーシップ
- P.5 淡路のちょいワザ名人紹介 郷土料理の名人
野菜ソムリエ金山京子さんの「淡路の旬を食べよう」
- P.6 淡路文化会館・淡路生活科学センターからのお知らせ
- P.7～8 淡路のイベント情報・展示情報

子どものころから絵はもちろん、人を笑わせたり
驚かせたりすることが大好きだった

土井章広さん

富久屋の看板↓



土井さんは、家業の手作りふとんと衣料品のお店「富久屋（淡路市生穂）の三代目と布団とアートを融合させた作品を手掛けるアーティスト（NPO法人淡路島アートセンターの会員）としての二つの顔を持っています。「着物地で作った古典的な座布団」をはじめ、「自分のイラストを全面に描いた布団」、「イカを寝かせる小さな布団」、旅行をした時、人だけではなくカバンにもゆっくりと寝てもらおうようにと作られた「カバンのための布団」など、作品には思いもつかない遊び心がいっぱいです。



最近では、読売新聞の「淡路島 人・街さんぽ」コーナーのイラストも担当されています。淡路島の名所のイラストとその下に書いてあるコメントがなんとも楽しくて、思わず見入ってしまいます。そのイラストの中に毎回必ず登場する隠しキャラがあるのだとか！その中の一つがいやし系キャラ「ホッ君」です。

写真の土井さんが手に持っているのが 紙粘土で作った「ホッ君」なのですが、「ホッ君」は実は土井さん自身だとか。土井さんは、ホッ君のこの寝そべりポーズで楽しいアイデアをどんどんと生み出していきます。将来は、この「ホッ君」のオブジェを淡路島のお店などいろんな場所に置いてもらって、島を訪れる観光客に「ホッ君探し」をしてもらおうとも考えています。ちなみに「ホッ君」は、富久屋のお店の看板の中にもすでに隠れています。昔ながらの手作りの布団の技術をしっかりと受け継ぎ、それを守りながらその良さをPRし、独自のアートと融合させて新たな世界と夢を広げていく土井章広さん。いろんなアイデアをもって淡路島を楽しく盛り上げてくれる、こんな若者がいるから、淡路島は、ほんまべっちゃんない！！

取材：福谷寿美



南あわじ市八木 寺内（じない）祭礼団

祭礼団ががんばっている！



「ヤァー、し〜ずめましょ！さぁーよいっ！ドンデンドン・・・」。桜のつぼみがふくらむ季節になると、三原平野のあちらこちらの公会堂から子どものかん高い唄声と若い衆の太い掛け声で構成された「だんじり唄」が響いてきます。春祭りに向けて祭礼団の若者は地域の先輩たちから、若者は子どもたちへと、「だんじり唄」を教え伝えながら練習をしているのです。わが家の長男（今は高校生）がだんじりに乗っていたとき、祭礼団に入っている父親とだんじり唄で子役を務める息子の掛け合いで「玉三（たまさん＝演目の名前）」が毎晩のよう

にお風呂の中から聞こえてきたものです。「親子のいい響きだったなぁ」と、なつかしい思いです。早春のだんじり唄の練習、春祭り、夏のだんじりの虫干し等、祭礼団活動で集まることが頻繁なこともあり、若者たちの連帯感も自然と強まり、地域への愛着心や縦・横のつながりも強くなっているように感じます。地域の祭りを支えるこんな大人の団体があることは心強いことです。ドーン、ドンという祭り太鼓の音が公会堂から響いてくると、気持ちちはやり、「今年の祭りも、べっちゃんない！」、そんな安心感でいっぱいになります。応援隊：川原雅代



淡路発 左官職人 久住有生
Kusumi Naoki さん

今は仕事の拠点は東京ですが、個展に出品する作品製作のために(偶然にも)淡路市釜口のアトリエに居られたところを取材させていただくことができました。「どんどん便利になっていく淡路島をうれしく思う反面、その代償に『淡路らしさ』を失っている部分もあるような気がして…」と言われます。淡路島は、人口減少・伝統建築の減少で、職人が腕を振るう場がどんどん少なくなってます。伝統的技術をただ衰退させるのではなく、この土地でしっかりと左官の技術を身に付けて、新しい提案を発信しようとする若き親方に出会って感じたことは、「淡路発の『The 職人』がいる、この島は、べっちゃない…」でした。取材:栄 宏之

久住有生(くすみなおき)さんは、祖父の代からの左官屋さんで3代目です。子どものころは、左官という仕事に魅力を感じず、将来はケーキ屋さんになるのが夢だったそうです。ところが、10代のときに見たヨーロッパの伝統的な建築に魅せられたことと、父親の「ケーキは食べたら終わりやけど、左官の仕事は自分が死んでも残るぞ…」という言葉がけがキッカケとなり、左官職人の道を目指すことになったそうです。阪神淡路大震災の後、3年間は補修の仕事ばかりだったのですが、材料やその使い方・工法手順などで被害の出方が違うのを目の当たりにしての気付きもあり、「あのときの経験は、本当に勉強になった」と、当時を振り返り話されます。



淡路のアトリエでの久住さんは、個展の作品制作に余念がない。



久住さんのホームページ

<http://www.kusuminaoki.com/>



鮎原小学校3年生の「だんじり唄」

洲本市五色町鮎原小学校では3年生になると「だんじり唄の授業」があります。これは総合学習の一環で、今年で6年目になります。だんじり唄のお師匠さん(講師)は、地元に住む木下勝也さん。毎年、学習発表会で披露します。3年生は43人。今年も1月末に開催された発表会のために昨年11月ごろから授業で週1~2回、その他昼休みや放課後にも練習したそうです。子どもたちに「だんじり唄」について聞いてみると、「唄う

のは楽しい」「音程を上げたり下げたりするのがすごく難しいけど、ちゃんと唄えると拍手がもらえて嬉しい」などの声が返ってきました。みんな「だんじり唄の授業が大好き」という感じでした。学習発表会当日は、さすがに緊張した様子でしたが、すばらしい名調子の披露でした。唄を教えた木下さんは、「だんじり唄は、唄の意味を理解すること、音程の上げ下げや高音部分などが難しいけれど、みんなが一つになりぴたっと合うと、みごとな唄になる。年々、上手になっている。」と優しく笑みを浮かべます。

今後は、老人会との交流や地元「河上神社」の春祭り、5月には「だんじり唄コンクール」と続き、もっともっと唄を続けたい子は「若鮎会」という「だんじり唄の会」にも入れるそうです。小学校に「だんじり唄」の授業があり、地域の大人が先生になり子どもたちに唄を教える。発表会や祭りで唄う子どもたちを大人たちが見守る。「だんじり唄を通した地域の大人との関係を大事にしながら、この子どもたちは大きくなっていくのだろうなあ」と感じつつ「まだここは、べっちゃない べっちゃない…」と思わず声に出してつぶやいたのです。応援隊:稲嶺恵美

生活創造活動グループ

サンシャインホール シャンソン教室



代表：脇田恭子さん

2001年、サンシャインホールで誕生して以来、日本を代表するシャンソン歌手「菅尾玲子(すがおれいこ)」先生と「遠藤坦子(えんどうひろこ)」先生のご指導のもと、愛を歌い、恋を歌い、人生を歌って9年目を迎えます。年1回のサンシャインホールでのコンサート(2月22日に開催しました)や他の教室生との合宿、ディナーショーなどの活動をしております。メンバーは、声の良し悪しや年齢は関係なく、個性的に歌えることを楽しんでいます。皆、シャンソン大好き人間で、集まれば気持ちもピッタリと合います。現在、26人のメンバーが、毎月第1土曜日の午後、サンシャインホールで練習をしています。新メンバーも募集中です。

連絡先：0799-72-2191(同教室 西山満利子)



紹介しま〜す!!
くらしの中の人と人、
人と場所、人と物etc
との素敵な関係...

くらしのパートナーシップ

東浦朗読ボランティアグループ
ひとみの会
代表：山本幸子さん

and

淡路文化会館
コミュニティ応援隊派遣事業

県に登録されている講師を呼んで学習会をすると、謝金を負担してくれる「コミュニティ応援隊派遣事業」のを知り、早速、淡路文化会館に申し込みました。私たちが依頼した講師は、「デイジー図書普及指導者」の安岡秀美先生(洲本市在住)です。私たちの主な活動は、目の不自由な方のために、市の広報紙や行政関係機関紙の情報をテープに録音し、貸し出しをしています。現在使われているこの録音テープも次第になくなり、今後はいっそう利用しやすくなるように、パソコンでデジタルデータに置き換える「デイジー図書」になっていくようです。点字図書館では、「デイジー図書」の貸し出しが増えていていると聞き、私たちの会でも「すぐにできるものではないので、今から少しずつでも勉強して作成していこう!」という前向きな意見になりました。まず、「ボランティアあしすと事業」でデイジー編集用機械をいただき、そして、2月13日に「デイジー図書編集者養成講座」を実施することができました。いろいろな事業に助けられながら、なかなか長い道のりですが、みな意欲は満々です。(グループ代表:山本)



「デイジー図書編集者養成講座」の学習風景



●コミュニティ応援隊派遣事業については、淡路文化会館
(電話0799-85-1391) までお問い合わせください。



地産地消にこだわる 郷土料理の名人

坂本和子さん

地元の材料を使った郷土料理にこだわる活動をしているのは、南あわじ市の坂本和子さん。坂本さんは自分たちのグループ(淡路食文化研究会)だけでなく、一般からも希望者を



募り郷土料理の調理実習を実施したり、他のグループとの交流会や郷土料理の講話や調理実習にも出向くなどの活動をしている。そんな活動のきっかけは、平成13~14年度の2年間、淡路文化会館での「プランナー養成講座」の「環境創造コース」で「正しい食生活と健康」と「郷土料理の継承と発展」という2つのテーマに取り組んだこと。郷土料理について現地調査や訪問、聞き取りなどをしながら、使う食材にもこだわり、手に入りにくい材料は、農家の方に自家消費分の他に「ちょっと余分に作れる人」を登録してもらい、「ささげ」「ずいき」(ちよぼ汁の材料)や「てぐさ=てんぐさ」(ところてんの材料)を確保している。とにかく作るたびに「気づき」があり、面白くてやめられない。他にも地産地消で気楽に作れる「とうがん」や「ハヤトウリ」の調理法など試作・試食している。

●写真は「ちよぼ汁」の材料の「ささげ」と「ずいき」

①「ささげ」はさやが茶色になってから取る。取り遅れると下に落ちてしまうのでタイミングが難しい。毎日収穫して干す。



②「さといもの茎=ずいき」

③茎はビニールの手袋をはいて包丁を使って皮をむく。



あく
じかに触ると、かゆくあったり、灰汁がついて手が汚れる。



淡路の「ちょいワザ・おおワザ・おもしろワザ名人」とは、島内に在住か在勤または、活動の拠点があり、自分の知識や技能を地域活性化のために活用したいと考えているボランティア精神満杯の方です。「ワザ名人」たちは、地域の集まりやイベント、グループの講座などで指導やワザの披露に活躍中です。「ワザ名人」に登録したい、または、「ワザ名人」を紹介してほしい方(団体)は、淡路生活創造情報プラザ(淡路文化会館内 ☎0799-85-1391)まで連絡をしてください。



野菜ソムリエ 金山京子さんの 「淡路島の旬を食べよう」



今月のお野菜は菜の花

スーパーに行くと春野菜を目にする季節です。菜の花のような山菜に含まれている独特な苦味成分はアルカノイドというポリフェノールで冬の間半分眠っていた私たちの細胞を目覚めさせてくれる大切な成分です。またカロテンはブロッコリーよりも豊富でビタミンCもタップリ含まれています。ビタミンCをこわさないためにもゆで時間はさっと2分程度に。

選び方のポイントは濃い緑色で茎や葉がピンと張り切り口のみずみずしいもの。花が咲いていないつぼみのものを。大人はおいしくいただけますが子供は苦手な菜の花。その理由は生きていくうえで苦味は毒と認識される成分。大人は経験からそれを安全だと認識しているのでおいしく食べることができます。

豪商高田屋嘉兵衛の生涯を描いた小説「菜の花の沖」。作者の司馬遼太郎は春のこの時期、菜の花がいっぱいに咲きほころぶ淡路島を思い描いたのでしょうか？食べるだけでなく先人たちがすごした風景が目に見え、浮かびます。食べて、見て淡路島の春を感じるお野菜、菜の花ってすごいですね！



淡路文化会館 各種講座 受講生募集

「いざなぎ学園」高齢者大学

生きがいづくりや地域づくりについて、「体験・実習」を通して楽しみながら学びませんか

学習年限: 4年間（4年の課程を修了した方に県知事から修了証が授与されます）**定員:** 60名（先着順）

受講資格: おおむね55歳以上の県内在住者 **申込期日:** 平成21年4月6日(月)必着

受講料: 年間15,000円(別途自治会費7,000円)

「いざなぎ学園」高齢者大学院

現地学習を中心とした講座で、淡路の魅力を経験的に学び、その知識や技能を、実践活動を通して発揮してみませんか

学習年限: 2年間（2年の課程を修了した方に県知事から修了証が授与されます）**定員:** 30名（先着順）

受講資格: 県内在住で、県立4年制高齢者大学講座又は市町立の高齢者大学等を修了した者

申込期日: 平成21年4月6日(月)必着 **受講料:** 年間15,000円(別途自治会費4,000円)

淡路日本画セミナー

講師: 山田美耶子氏(兵庫県日本画家連盟理事長)

日本画の基礎・基本をしっかりと学んでみませんか

定員: 初級コース: 20名（先着順）

中級コース: 25名（先着順） 計45名

募集対象: 淡路地域に在住・在勤の者

申込期日: 平成21年4月30日(木)必着

受講料: 年間7,000円(別途自治会費3,000円)

淡路洋画セミナー

講師: 前川和昭氏(洋画家・造形作家)

のびやかに、しなやかに、描いてみませんか

定員: 40名（先着順）

募集対象: 淡路地域に在住・在勤・在学の者

申込期日: 平成21年4月30日(木)必着

受講料: 年間7,000円(別途自治会費3,000円)

上記のいずれも淡路文化会館(Tel 0799-85-1391)にお問い合わせください。ホームページからも申込用紙がダウンロードできます。 URL:<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/index.htm>



淡路生活科学センター くらしの相談コーナー

★みかんの訪問販売にご注意！★

こまったもも



淡路市内でみかんの訪問販売があり、「強引に売られた」「高価格すぎる」などの苦情が淡路生活科学センターに多数寄せられています。

事例1

「特別な品種のみかんだ」と説明され、1箱(約70個)を25,000円で勧められ、「いらない」と断ったにも関わらず、強引に買わされた。

事例2

男女2人組の販売員が強引にみかんを買うよう勧めてきた。「いらない」と断ると、乱暴な口調になり、怖くなって買ってしまった。

★アドバイス★

★このような業者には十分注意してください。

★必要がなければ、きっぱりと断りましょう。

★購入してしまった場合、あとで問題が発生したときに連絡がとれるよう、連絡先を確認し、領収書は必ずもらいましょう。

★困ったことがあれば、淡路生活科学センターにご相談または通報ください。

★また、強迫・威迫がある場合は、警察へ通報してください。

淡路生活科学センター 電話0799-85-0999商品や契約についてお気軽にご相談ください。

消費生活相談・多重債務相談 9:00~12:00 12:45~16:30

◇ 週末消費生活相談(土・日10:00~16:00) 電話0120-511-103(携帯電話不可)

【時】開催日等 【所】場所 【料】料金 【問】問い合わせ先

◆第4回あわじ総合緑花プラン推進フォーラム◆

【時】3月14日(土)13:00～16:30 【所】洲本ポートターミナルビル3階みくまホール 【料】無料(要申込・先着約100名)
「淡路らしい花壇づくりをめざして」をテーマに講演とパネルディスカッションを開催します。
講演:「持続可能な淡路らしい花壇づくり」講師 県立淡路景観園芸学校 能勢 健吉 氏(兵庫県立大教授)
パネルディスカッション:「淡路らしい花壇づくりをめざして」
【申込期間】2月12日(木)～3月6日(金) ①参加者氏名②連絡先③グループ名 を明記し下記まで郵送又はFaxで
【問・申込先】淡路県民局県土整備部まちづくり課(洲本市塩屋2-4-5) TEL 26-3213 Fax 25-2344

■淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」■ TEL 74-1200 FAX 74-1201 〒656-2304 淡路市夢舞台4

【料】 大人600円 65才以上300円 高校生360円 中学生300円 小学生180円

○春爛漫 花遊楽-花見の庭- 【時】3月7日(土)～4月19日(日)

展示室5 フラワーショースペース 豊臣秀吉の「醍醐の花見」をイメージした安土桃山時代の華麗な庭が登場。

展示室4 癒しの庭 リラクゼーションガーデン(3月7日(土)～5月24日(日))

色と香りで創る癒しの庭。「Touch&Smell Garden」として香りのテイスティングコーナーとアロマセラピーコーナーも設置。「花とアート展」では向山潔氏のオブジェクトと花で彩るモダンアートガーデンが登場。

○アロマセラピー教室【時】毎週土曜・日曜 11:00～16:00【料】900円～(商品により異なる)

天然の植物から抽出したオリジナルのアロマオイルで、アロマミストやバスソルトなどを作ります。
スプリングフラワーショー(3/7～5/24)期間中の毎週土日は「私の香&香りのグッズ作り」を開催。

■国営明石海峡公園■ 管理センター TEL 72-2000 〒656-2307 淡路市南鶴崎8-10

【入園料】大人400円 小人(小・中学生)80円 駐車料金:普通車500円

○淡路花祭2009春【時】3月20日(金祝)～5月10日(日)(3月中:9:30～17:00(閉園まで)、4月以降:9:30～18:00(閉園まで))淡路夢舞台、国営明石海峡公園をメイン会場に、あわじ花さじき、淡路ハイウェイオアシス、淡路景観園芸学校をサテライト会場として、各会場を花で結ぶ北淡路の春の一大イベント

・「チューリップアイランドパティー2009」(4/4～19 土日にはステージイベントなどたくさんのイベントを実施)・「はなまつりオリエンテーリング」(期間中毎日)・「緑花文化士 清水先生と行く春の花めぐり」(4/5、5/3 ①11:00～②13:30～)・「ミニ園芸体験」(期間中の土・日・祝 500円～)・「ふわふわ遊具で遊ぼう」(期間中の土・日・祝 200円)・「お絵かき風船」(期間中の土・日・祝 200円)・「公園ガイド」(期間中の土・日・祝 ①11:00～②13:30～ 無料)

■淡路景観園芸学校■ 普及指導課 TEL 82-3455 〒656-1726 淡路市野島常盤954-2

○まちづくりガーデナーテーマコース(園芸療法のアシスタントになるろう)

【時】4月27日(月)、5月25日(月)の2日間 両日とも13:10～16:15

【料】受講料5,800円、傷害保険100円、実習材料費1,000円【内容】ボランティアとして園芸療法のアシスタントができる人材を養成します。【定員】30名(定員超過の場合抽選)【対象】兵庫県在住、在勤、又は在学者
【締切】3月31日(火)【申込】所定の申込書を郵送又はFAXで(用紙は本校ホームページからダウンロードしてください)

■淡路島公園■【問】淡路島公園管理事務所 TEL72-5366 〒656-2401 淡路市岩屋大林2674-3

○淡路島公園を楽しもう会「花と緑の教室(寄せ植え)」

【時】3月21日(土)10:00～12:00【料】1作品2,500円(材料費として)(※要電話予約)【定員】30名(先着順)

【所】オアシス館2Fやまもも【テーマ】「春の兆し」

★しづかホール★ 【問】TEL 62-2001 〒656-2132 淡路市志筑新島5-4

○津名ライオンズクラブ映画祭「ふみ子の海」【時】3月22日(日)13:30～【料】無料

ハンディにもかかわらず前向きに生きるふみ子と彼女を温かく見守る大人たちの姿が、人間の本当の優しさや目に見えない大切なものの存在を教えてください。

【問】津名ライオンズクラブ事務局 TEL 62-3664

★洲本市文化体育館★ TEL 25-3321

○デューク更家 ワンダーレッスン

【時】3月14日(土)14:00～【所】メインアリーナ

【料】4,300円【問】担当:伊達 荒人 TEL 090-7753-6019

○ヤマハミュージック大阪神戸店春の合同発表会

【時】3月15日(日)10:00～【所】文化ホール『しばえもん座』

【料】無料【問】ヤマハミュージック大阪神戸店 TEL 23-0915

○第24回洲本吹奏楽団定期演奏会

【時】3月22日(日)14:00～【所】文化ホール『しばえもん座』

【料】無料【問】洲本吹奏楽団 担当:喜田 TEL 090-2040-6340

○佐渡音楽教室発表会

【時】4月12日(日)10:30～【所】文化ホール『しばえもん座』

【料】無料【問】佐渡晶子音楽教室 TEL 32-0097

○水森かおり歌謡コンサート

【時】4月19日(日)昼の部14:00～、夜の部17:30

【所】文化ホール『しばえもん座』【料】S席:6,500円A席5,500円

【問】共栄プロダクション TEL 06-6211-5114

○若林薫ピアノ教室ピアノ発表会

【時】4月29日(水祝)14:00～【所】文化ホール『しばえもん座』

【料】無料【問】若林薫ピアノ教室 TEL 42-1263

◆第1回協生淡路障害者美術作品展の作品募集◆

○募集部門:「絵画部門」「書道部門」「写真部門」「工芸部門」○応募資格・規定:★淡路島内在住で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者手帳をお持ちの方、又は同等の障害のある方。★各部門一人3点以内 ★5月19日(火)20日(水)のいずれかに淡路文化会館に直接搬入でき、かつ6月8日(月)の午前中に作品の搬出ができる方
○募集期間:3月15日(日)～4月30日(木)○展示:5月26日(金)～6月7日(日)淡路文化会館展示室
○応募方法:下記に詳細をお問合せの上、所定の用紙でお申し込みください。
【問】 ひょうご知的障害者自立就業支援ネット「協生」 淡路障害者美術作品展事務局 TEL 33-1212(原田建設株式会社 原田和明)

◆淡路食文化研究会3月の調理実習◆

テーマ「旬の野菜とエゴマとαリノレン酸がたっぷりのエゴマ油を使った健康料理」

【時】 3月19日(木)10:00～13:00【所】 淡路文化会館調理室【料】 700円(材料費・資料代)【申込締切】 3月15日(日)
【問・申込】 坂本 55-1382 熊野 85-0036 小田 74-2415

◆Doing!親の縁結び事業◆南あわじ市縁結び事業推進協議会事務局(南あわじ市役所少子対策課 TEL 44-3040 Fax 44-3036)

【時】 3月22日(日)13:30～16:00【所】 ホテルニューアワジ『プラザ 淡路島』【料】 1,000円(含ケーキ・ドリンク代)【定員】 60名
【対象】 ①独身男性(南あわじ市在住)②独身女性(住所要件なし)いずれかの親で誠実に対応していただける方
【申込】 電話・FAX・電子メールでI(参加者=親について)①氏名(参加希望者全員)②郵便番号③住所④電話番号、II(お子様について)⑤氏名⑥性別⑦年齢、を告げて申し込んでください。※申込者に「参加証」を交付します。
【締切】 3月12日(木)【問】 上記 TEL、Fax。電子メール:shoushitaisaku@city.minamiawaji.hyogo.jp

ギャラリーインフォメーション

淡路文化会館 TEL 85-1391【料】 無料
(展)…展示室 (ギ)…県民ギャラリー (資)…資料室
淡路日本画セミナー受講生作品展 (3/11～ 3/23)
落ち葉で島をデザインする (3/26～ 4/12)
洲本市民交流センターアールギャラリー TEL 24-4450【料】 無料
植田健児・弘子 日本の風景写真展 (3/ 1～ 3/29)
淡路日本画セミナー受講生作品展 (4/ 2～ 4/29)
玉青館 TEL 36-2314 休館日:毎週月曜(月曜が祝日の場合はその翌日)
【料】 大 300円、高・大 200円、小・中 100円
平成20年度館蔵品展III※期間中入れ替えあり(～ 3/31)

淡路人形浄瑠璃資料館 TEL 43-5037【料】 無料
淡路人形浄瑠璃名場面「玉藻前旭袂」(8月下旬まで)
淡路の伝統芸能と文化のパネル展 (～ 3/29)
南あわじ市発掘調査速報展 (～ 3/31)
山崎潤子淡路人形版画展 (4/ 1～ 5/30)
洲本市民工房 TEL 22-3322
市民講座展覧会「傑作!できばえおみごと展」(3/ 6～ 3/15)
学生書道展 (3/21～ 3/22)
絵手紙・習字作品展 (3/29)
墨に遊ぶ子供たち展 (4/ 4～ 4/ 5)

編集日より

4年間活動した「生活創造応援隊」を卒業します。
最初のころは、編集会議への参加もできず、配布だけの活動でしたが、2年目からは、会議での応援隊のみなさんとの会話が楽しくなってきた、取材にも自ら進んで行けるようになりました。3年目になると、いよいよ先輩として取材のアドバイスがきたりと、大活躍(?)でした。そしてこの春、夫の転勤に伴い、淡路から海外に引っ越すことになったのです。思えば、新しい情報を求めて人と出会い、取材をさせていただき、そして、出来上がった「しんぶん」を届ける。そんな地域に密着した活動がとっても楽しかった。応援隊に参加して嬉しかったことは、仲間の中に同年代の4人の子育てママがいたこと!子育ての苦労やしんどさを共感してもらえて、そしてみなさんの頑張っている姿がすごく刺激になりました。ほんとうに、ほんとうにありがとうございました。
応援隊:橋本史江

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内の約240カ所に配布しています。
ウェブでご覧になるとカラー版でお楽しみいただけます。

読者の皆さまからのお便り、まちの情報をお待ちしています。下記までお気軽にどうぞ!



キャラクターの
ほけタンだよ!

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路県民局 淡路文化会館・淡路生活科学センター
〒656-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-85-1391
FAX 0799-85-0400
E-mail: bunka-85awaji@maia.eonet.ne.jp

「ポケットあわじは」どこで手に入るの?・・・淡路島内各市の庁舎・公民館、ホール、商業施設などで無料配布しております。また、淡路文化会館のホームページ・下記URLでもご覧になれます。

<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>